

「きらめく人と自然 あったか小野町」を実現するために

第四次振興計画重点施策に対し、選択と集中により予算を配分
一般会計予算39億9,500万円 前年度より3.42%増

◆当初予算の概要

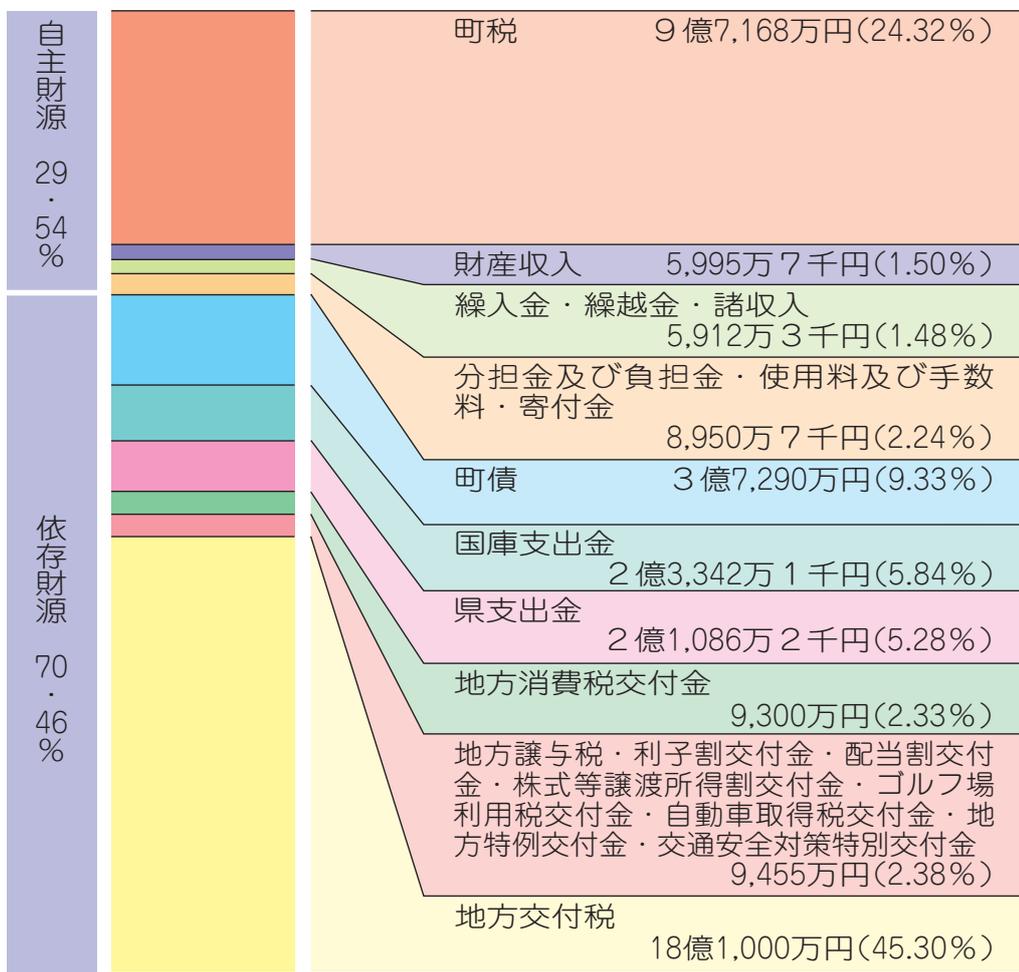
平成22年度一般会計予算の総額は39億9千5百万円で、前年度より1億3千2百万円(3.42%)増額となりました。

増額となった主な要因は、国の制度改正による子ども手当の創設や緊急的な雇用機会創出のための事業予算の計上のほか、子どもの医療費助成事業の内容拡充などです。

◆基本的な考え方

景気低迷による町税収入が落ち込む中、平成21年度を初年度としてスタートした第四次小野町振興計画のまちづくりの基本目標「すこやか」「はぐくみ」「げんき」「さわやか」「あんしん」の重点施策に対し、選択と集中により予算を配分し、現在進行中の「笑顔とがんばり行革大綱」の基本方針に沿って予算を編成しました。

歳入



町税の状況

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較	増減率
町民税	3億6,173万5千円	3億7,948万円	△1,774万5千円	△4.67%
固定資産税	5億1,280万3千円	5億547万5千円	732万8千円	1.45%
軽自動車税	2,540万5千円	2,487万9千円	52万6千円	2.11%
町たばこ税	7,154万円	7,593万円	△439万円	△5.78%
入湯税外	19万7千円	20万円	△3千円	△1.50%
合計	9億7,168万円	9億8,596万4千円	△1,428万4千円	△1.45%